

外国語科・外国語活動 授業改善推進プラン

1 学力効果測定結果（第6学年のみ）

- ・「知識・技能」は目標値を昨年度よりも越え、教科の平均正答率も超えた。「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を越えていないが、目標値に近付いている。外国語指導講師を効果的に活用し、楽しく学習していることが本結果に表れていると考える。特に、「主体的に学習に取り組む態度」の伸びは大きい。
- ・音声を聞いて、その音声に合うピクチャーの選択など、聞くことが十分にできない種類の語がある。野菜の言葉が弱い。
- ・5年生で小文字26字をかくようにする。⇒テスト ※6年生では単語も英語で書けるとよい。
- ・例にならって文を書くことに慣れていない。無答率は低い。つまり、文章作りになれていないと考える。平易な文を書かせる指導が要。
- ・読むこと、書くことに慣れ親しむ必要がある。⇒単語を書かせる。
- ・「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」は、自分の考えを伝えたり書いたりするコミュニケーションを通じて技能を高める。「聞くこと」、「読むこと」は実際のコミュニケーションに応じて、音声を聞いたり文字を読んだりしてその内容を捉えさせる。
- ・音声を聞くことを重視することが重要。チャンツを多く取り入れることが必要。英語の絵本を読み、情景から想像することも有効。

2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題） ※第6学以外は実態で記述

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に初めて触れる児童が多く、抵抗を感じてしまうことがある。 ・活動には楽しんで参加しているが、内容を理解せずに参加していることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加している児童、内容をきちんと理解して取り組んでいない児童、恥ずかしがって消極的になっている児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加しているが、外国語を通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに抵抗をもつ児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音はできていても、文を発話することが難しい。 ・外国語指導講師からの質問に対して自信をもって答えることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの習得が不十分な児童がいる。 ・外国語の聞き取りは徐々に慣れてきているが、難しさを感じる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの習得が不十分な児童がいる。 ・外国語の聞き取りは徐々に慣れてきているが、難しさを感じる児童が多い。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、色や数等の単語を聞いて、外国語指導講師の発音を真似して、繰り返し発声する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自分の気分など、日常的に使える言葉を、学習の最初に発声することで、基本的な表現を覚えて、扱えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の基本的な表現に慣れ親しむことができるように、外国語指導講師の発声に続いて発声する活動を繰り返し設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師の発音に近づけて発音するよう指導することで、英語の音声やリズムなどに慣れ親しむ機会を増やす。 ・外国の生活や習慣・行事などを教材として扱うことで、異なる文化について気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師やデジタル教科書を活用し、聞き取る機会を増やす。 ・身近な単語などの書き取りを通して、アルファベットの習得を進める。小文字26文字を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大文字・小文字各26字を書けるようにする。 ・リズムに合わせて発音することで、標準的な発音やイントネーションを身に付けさせる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・色や数等の単語について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝えるアクティビティを設定し、活動することで、伝え合う力の基を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や食べ物などの子どもにとって身近な英語に慣れさせるために、掲示物を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現でのやり取りを含むアクティビティの設定し、活動することで、伝え合う力の素地を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動を増やすことで自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、伝え合えるようにする。 ・発表の場を設けて身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたいことを伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な単語や表現を使って、自分のことや友達のことを、相手に伝える活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動を行うことで、伝え合うことができる基礎的な力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで楽しめるようなアクティビティを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズやゲームを取り入れ、外国語に親しむ機会を増やす。 ・音楽やリズム遊びを取り入れて、興味・関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない表現や単語、そして聞き取りにくい発音などがあった時に、進んで外国語指導講師や担任に質問できるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで対話する場面を設定する。

※太枠内は、特に重視する内容